
◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 当面の休館日
- 3 領事窓口時間等の変更について
- 4 領事だより
 - (1) 日本へ入国・帰国される方々へ
 - (2) 領事出張サービス実施予定のお知らせ（NB 州、NL 州、QC 州、PEI 州）
 - (3) 在留届の届出内容に変更はありませんか？
 - (4) ヘイト事案の被害に遭ったら
 - (5) モンリオール日本語センターからのお知らせ
 - (6) モンリオール日本語補習校からのお知らせ
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 皆さまこんにちは。

秋ですね。

夏が終わりましたね、と書くと何か物悲しいと思い、秋を前面に出したのですが、いずれにせよ少々さみしい感じがします。東京で「秋ですね～」と言う時よりもなにか重みがあります。やはりその後に圧倒的な存在感をもって控えている冬に思いが及ぶからでしょうか・・・。

そうは言っても、昨年 10 月下旬に、世界に名高い紅葉がほぼ終わってしまってから着任した身としては初めての紅葉シーズンなので、短いのですがケベックの秋もしっかり楽しみたいと思っています。

前号以降も、過ぎゆく夏を惜しみつつ精力的に活動しました。

特に、ケベックシティを今までになく時間を取って訪問し、これまでお会いできなかった方々にお会いし、関係機関に対して必要な働きかけを行い、行きたいと思っていた場所を訪問することができて満足しています。選挙期間中のため、州政府から閣僚との面会のご法度であると言われたのが残念ですが、新内閣が成立したら早めに関係

大臣に面会して、日ケベック関係の一層の強化を訴えていきたいと思っています。ところで、ケベック州議会内で、京都の四季と庭園をテーマとした写真展が10月24日まで開催されています。州議会議長とともにオープニング式典に臨みましたが、見応えのある作品が並んでいますので、機会がありましたらぜひお運びください。

今月初めに日本の水際措置が一層緩和され、いよいよ往来が活発化されることを期待しています。総領事として対応する日本からの訪問者も少しずつ増えており、微力ながらケベック州をはじめとする東部5州のよさを訴えています。訪日観光客についてはさらなる緩和を待ちたいところですが、この秋の旅行博などの機会を捉え、旅先としての日本の魅力をPRしていきたいと考えています。

来月にはようやくノバスコシア州への公式訪問を果たすことができそうで、これで名実ともに東部5州を管轄する総領事と言えることになります。先日トロントに出張したのですが、トロントはともかく（かなりの頻度でどの交通手段で来たのか聞かれます・・・）、ハリファックスに行くのだと話してもクルマか飛行機か？と聞かれることがあります。航空運賃や昨今の空港での混乱もあるのですが、この広い国土をひたすらクルマで往来するカナダ人に、狭い日本から来た身としては驚くこともしばしばです。私はもちろん飛行機で参ります・・・。

今週末大西洋州の一部にハリケーンが接近すると予想されています。くれぐれもお気をつけ下さい。

毎号長くなる一方の「挨拶」でしたので、今回は多少なりともコンパクトにまとめてみました。これから管轄各州への領事出張サービスも続きます。以前から申し上げていとおおり、総領事館をできるだけ在留邦人の皆さまの近くにある頼りになる存在としていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

2 当面の休館日

- 9月30日（金） National Day for Truth and Reconciliation
- 10月10日（月） Thanksgiving、スポーツの日
- 毎週土日

3 領事窓口時間等の変更について

2020年4月以来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とケベック州の各種規制を受け、領事窓口受付時間を短縮してきましたが、2022年3月28日（月）から、通常化しています。

詳しくは以下をご覧ください。

(1) 受付時間

【査証を除く、申請の受付】

9 時～12 時、13 時 30 分～16 時 30 分

【査証を除く、交付・受領】

9 時～12 時 30 分、13 時 30 分～17 時

【査証の申請受付と交付・受領】

9 時～11 時 30 分、13 時 30 分～16 時

(2) 標準処理日数

●旅券

申請日の翌開館日を 1 日目として、5 開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→翌週月曜日交付)

●証明

申請日の翌開館日を 1 日目として、3 開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→木曜日交付)

●査証

申請日の翌開館日を 1 日目として、原則として、5 開館日目に交付します。

(例：月曜日申請→翌週月曜日交付)

(3) 予約制の一部導入

当地の規制緩和及び日本における水際措置緩和に伴い、来館者が増加しております。来館者及び当館館員の感染リスクが高まることを可能な限り防ぐため、領事待合室に来館者が長時間滞在されることのないようにいたします。

このため、2022 年 3 月 15 日（火）から、当面の間、一部の取り扱いについて予約制を導入しています。あらかじめ当館領事班にご連絡いただき、ご予約ください。

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 日本へ入国・帰国される方々へ

新型コロナウイルス感染症の水際対策により、日本への入国・帰国前から事前の準備が必要です。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【当館ホームページ】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

(2) 領事出張サービス実施予定のお知らせ（NB 州、NL 州、QC 州、PEI 州）

当館は、2022 年 10 月から 12 月にかけて、NB 州フレデリクトン、NL 州セントジョンズ、QC 州ケベックシティ、PEI 州シャーロットタウンで領事出張サービスを開催する予定です。

詳しい情報は以下の URL をクリックしてご覧ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

なお、2023 年 3 月に NS 州ハリファックスでも領事出張サービスを行う計画ですが、詳細は未定です。

(3) 在留届の届出内容に変更はありますか？

外国に 3 か月以上滞在する日本人は、お住まいの地域を管轄する在外公館に在留届を提出することが義務づけられています。在外公館は、在留届をもとに、日本人の皆様が不慮の事故や事件、災害に遭遇した際の安否確認、日本国内連絡先への緊急連絡等を行っています。そのためには、在留届の記載内容が常に最新の状態であることが重要です。

在留届を提出されている在留邦人の皆様のうち、在留届を窓口・郵送・ファックス・Eメールで当館に提出された方におかれては、届出内容に変更が生じた場合は、速やかに当館にご連絡くださるようお願いいたします。

なお、インターネット上で提出された方におかれては、ご自身でインターネットにて手続きをお願いいたします。

災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、またはたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

（4）ヘイト事案の被害に遭ったら

ヘイト事案とは、人種、出身国、民族、言語、皮膚の色等を理由とすると考えられる、嫌がらせ行為（犯罪には該当しないもの）をいいます。当館の管轄地域でも、これまでに数例ですが日本人（アジア人）に対するヘイト事案と疑われるケースが報告されています。

ヘイト犯罪・事案を防止するためには、ヘイト事案を治安機関に報告し、行為者の情報を蓄積していくことが重要です。ヘイト事案の被害に遭ったがどこに相談すればいいかわからないという場合は、当館までご連絡ください。警察等の窓口を紹介いたします。

（5）モントリオール日本語センターからのお知らせ

モントリオール日本語センターは、オンラインにて第3回カナダ・こどもスピーチコンテストを開催いたします。

テーマは「日本のみんなに伝えたい・教えたいこと」

カナダ全土に在住の日本語でスピーチができる、小学1年生から高校3年生（2004年4月2日～2016年4月1日生まれ）のお子様に参加できます。

児童低学年の部・高学年の部・中高等の部の3部門あり、各部門の最優秀賞にはギフトカード、記念品の贈呈があります。また、参加者全員に参加賞をお送りいたします。

詳細は、コンテストチラシ（<https://bit.ly/3RQ740j>）をご覧ください。

ご登録はこちらから→ <https://bit.ly/3bt0D2e>

日本語で思いを伝えたい生徒さん、ご応募をお待ちしています！

（6）モントリオール日本語補習校からのお知らせ

モントリオール日本語補習校では11/12(土)に来年度（2023年4月）の新入学希望者を対象とした入学説明会を実施致します。ご希望の方は11/1(火)までにお申し込みください。詳しくはHPをご覧ください。

連絡先：info@hoshuko.ca

HP：<http://mtljpschool.web.fc2.com/>

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

（2）写真展「京都の庭園の四季」（ケベック市）

京都府と友好提携を結んでいるケベック州の州都、ケベック市において、国際交流基金トロント文化センターが所蔵する水野克比古撮影「京都の庭園の四季」写真展を開催しています。ケベック州議会が共催し、京都府から提供の写真6点も追加展示中です。（入場無料）

期間：9月2日（金）～10月24日（月）＊日曜を除く毎日

場所：ケベック州議会

Assemblee nationale du Quebec

Hotel du Parlement

1045, rue des Parlementaires, Quebec

<http://www.assnat.qc.ca/fr/visiteurs/programmation-citoyenne/quatre-saisons-des-jardins-de-kyoto.html>

（3）カナダ巡回日本映画祭

国際交流基金トロントとの共催で、カナダ巡回日本映画祭を開催します。入場無料、先着順で御入場いただきます。

【ハリファックス（NS州）】

日時：10月13日（木）17時30分

場所：セント・メアリーズ大学

＊詳細は追って当館ホームページに掲載します。

【モントリオール】

（ア）日時：10月28日（金）18時

「3ft Ball & Souls（三尺魂）」（2017／93分／英語字幕）

監督：加藤悦生 出演：村上穂乃佳、木ノ本嶺浩、辻しのぶ、津田寛治ほか

(イ) 日時：10月29日(土) 13時

「La Ballade de Narayama (檜山節考)」(1983/131分/フランス語字幕)

監督：今村昌平 出演：緒形拳、坂本スミ子、左とん平ほか

(ウ) 日時：10月29日(土) 15時45分

「The Town of Headcounts (人数の町)」(2020/111分/英語字幕)

監督：荒木伸二 出演：中村倫也、石橋静河、立花恵理、山中聡ほか

場所：Cinematheque quebecoise

335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/>

(4) 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●Yayoi Kusama: DANCING LIGHTS THAT FLEW UP TO THE UNIVERSE

草間彌生に関する展示が行われます。入場無料ですが、事前予約が必要です。

期間：7月6日(水)～2023年1月15日(日)

場所：PHI Foundation

451 Saint-Jean Street, Montreal

<https://phi.ca/en/events/yayoi-kusama/>

●茶道裏千家淡交会ケベック協会主催ラヴァル大学教室の再開(ケベック市)

日時：9月17日から毎週土曜日 9時30分～11時30分(10週間コース)

場所：ラヴァル大学中央図書館エスパスジャポン

(Pavillon J.-C. -Bonenfant, Espace Japon, niveau 00)

* 教室の継続者には、裏千家許状取次可

詳細とお申込みについてはこちらからご確認ください。

<https://chadourasenkequebec.jimdofree.com/formulaires/cours/>

<https://www.facebook.com/people/Association-de-Chado-Urasenke-Tankokai-de-Québec/100027271883609/>

●La Societe des Calligraphes de Montreal 主催展覧会

シマード桃扇氏による日本の書道作品のゲスト出展が行われます。

期間：9月20日(火)～10月2日(日)

火～金：13時～21時、土：13時～19時、日：13時～17時

場所：Galerie Le 1040

1040 Marie-Anne, Montreal

<https://www.galerie1040.com/portfolio-item/la-societe-des-calligraphes-de-montreal-2/>

●いけばなインターナショナル 9 月例会

Lynne Williams 氏及び Adrienne Doedel 氏による小原流デモンストレーションが行われます。

日時：9 月 30 日（金）13 時

場所：Centre Communautaire Monkland

4410 ave. West Hill, Montreal

電話：514-872-8588

参加費：20 ドル

連絡先：田中和子氏（kazuko.dorangeville@gmail.com）

●抹茶ワークショップ

4 つのグレードの違うお抹茶と 5 種類の和菓子をお楽しみいただけます。

日時：10 月 16 日（日）10 時 45 分～12 時、13 時～14 時 15 分

11 月 20 日（日）10 時 45 分～12 時、13 時～14 時 15 分

場所：Bistro Otto

143 Avenue du Mont-Royal E, #200, Montreal

<https://www.eventbrite.ca/e/atelier-101-the-matcha-et-desserts-japonais-par-reina-sakao-et-maya-furuta-tickets-405300624077?aff=jp>

●ランゲージ・エクスチェンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクスチェンジが、毎週土曜日朝 8 時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター主催（オンライン）イベント

日本語教師向けにワークショップや情報交換会が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック(QC)州

・8 月 11 日、州上級裁判所は、仏語保護強化を目指す法案 96 可決にともない州法 101 で新たに定められた、英語による全ての裁判資料について、翻訳証明付き仏訳の提出を義務付ける条項の一時停止を決定。これは英仏 2 言語での司法へのアクセスを保障している憲法規

定に反する可能性があるとの理由によるもの。

- ・8月15日、インフレにより州歳入が47億加ドル増加し、今年3月の州予算で64.5億加ドルと予測された赤字は7億加ドルまで縮小。
- ・8月17日、カナダ統計局の2021年国勢調査によると、家庭での主要言語が仏語であると回答した州民の割合は、前回2016年調査の79%から77.5%に減少(州民全体で見ると82.7%から81.3%に減少)。英語を第一公用語とする州民の割合は2016年の12%から13%に増加、このうち10人中7人以上がモントリオールとモンテレジ地域に居住する。
- ・8月28日、任期満了にともなう州議会議員選挙が公示される。10月3日の投票日に向け、定数125議席をめぐる5主要政党による選挙戦開始。
- ・8月29日、州政府は、モントリオールにおける銃を使用した暴力事件対策として、5年間で2.5億加ドルの追加支出を発表。これにより、モントリオール市が新たに450人の警察官を雇用することが可能となる。
- ・8月30日、モントリオール市警察(SPVM)は、武器による暴力事件対策に特化した新部隊「ARRET」の発足を発表。68人の専任警察官が9月初旬より配備される予定。
- ・8月31日、Ciccone 州自由党現職候補が選挙事務所の破壊及び盗難被害に遭い、州警察(SQ)が捜査を開始。

(新型コロナウイルス関連)

- ・8月12日、州保健研究所(INSPQ)は、今秋、ワクチンとコロナ感染の両方による免疫(ハイブリッド免疫)をも逃れる新たな変異株が、オミクロン波を上回る「第8波」を引き起こす可能性があるとして発表。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

- ・8月12日、ニューファンドランド島中部で発生した森林火災のために、前週同地域に発令されていた非常事態宣言が終了。火災は7月末に高温・乾燥の中、落雷で発生したもので、Paradise Lake で17233ヘクタール、Bay d'Espoir Highway で5614ヘクタールと過去数十年で最大規模となり、Bay d'Espoir 道路閉鎖のために周辺自治体は断続的に孤立状態となっていた。(9月2日、州政府は、火災は完全に鎮火したと発表。)

(新型コロナウイルス関連)

- ・8月1日、生後6ヶ月～5歳未満へのワクチン接種開始。
- ・8月16日、メモリアル大学は、秋の新学期より、一部の例外を除き授業中や研究室でのマスク着用義務付けを再開すると発表。

(3) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

- ・8月18日、カナダ統計局の2021年国勢調査によると、家庭での主要言語がカナダの公用語(英仏語)ではない州民の数は、前回調査(2016年)から倍増し、州人口の6%に当たる9080人となった。また北京語が仏語を抜き、家庭で2番目に多く使われる言語となった。

(新型コロナウイルス関連)

・8月10日、PEI 大学は、秋の新学期より、一部の例外を除き屋内でのマスク着用義務付けを再開すると発表。

(4) ノバスコシア(NS)州

・8月26日、2020年に22人が殺害された銃乱射事件に関する公開調査の最終報告書の提出が2023年3月に延期された。

(5) ニューブランズウィック(NB)州

・8月6日、州自由党党首選実施。3回目の投票でホルト(Susan Holt)氏に決定。女性党首は同党初。

・8月17日、カナダ統計局の2021年国勢調査によると、カナダで唯一の英仏バイリンガル州であるNB州で、英仏バイリンガルであると回答した州民の割合は34%と安定しているが増えている。家庭での主要言語が仏語であると回答した州民の割合は、26%と減少傾向が継続(2006年30%、2016年28%)。

・8月31日、州政府は、QC州の看護師試験を受験することで、NB州の看護学部卒業生が同州のフルライセンスを取得することを認めると発表。今後QC州(OIIQ)の試験は、仏語系看護師に不利と批判されているNCLEXと同等とみなされ、合格すればNB州での登録手続きが簡略化される。

【各州世論調査結果（未確定分は除く）】

州政党支持率

・QC州（レジェ(Leger Marketing)調べ（以下同じ）、7月29～31日）：ケベック未来連合(CAQ)44%、自由党(PLQ)18%、ケベック連帯(QS)15%、ケベック保守党(PCQ)13%、ケベック党(PQ)10%、その他0%

・QC州（8月22～26日）：CAQ42%、PLQ17%、QS15%、PCQ14%、PQ9%、その他3%

・NL州（ナラティブ・リサーチ(Narrative Research)調べ（以下同じ）、8月3～23日）：進歩保守党(PC)42%、自由党40%、新民主党(NDP)16%、緑の党1%、カナダ人民党(PPC)0%、その他0%

・PEI州（8月8～16日）：PC55%、緑の党22%、自由党18%、NDP4%、その他1%

・NS州（8月4～23日）：PC43%、自由党30%、NDP22%、緑の党4%、PPC1%、Atlantica 0%

・NB州（8月4～24日）：自由党41%、PC30%、緑の党14%、NDP11%、ピープルズ・アライアンス(PA)5%、PPC0%

7 当館管轄5州の経済

(1) QC 州

- ・8月9日、レクリエーション・ビークル製造のBRPは、サイバー攻撃を受け操業停止。15日、生産再開。24日、同社は、役員の個人情報やサプライヤーとの契約等の盗まれた情報がダークウェブ上に公開されたと発表。
- ・8月10日、電動航空機開発のWisk Aero（本社米カリフォルニア州）は、モンリオール地域にエンジニアリングセンターを開設。同社はグーグル共同創設者 Larry Page 氏とボーイングによるスタートアップ。
- ・8月11日、モンリオール観光局によると、2022年にモンリオールを訪れた観光客数は2019年同期間比の75%と、パンデミックから回復傾向にあると発表。夏のF1グランプリや複数の音楽フェスティバルで、観客動員数が過去最高を記録。
- ・8月11日、モデルナは、カナダにおける新たなmRNAワクチン製造施設建設地をラヴァルに決定。
- ・8月12日、砂糖製造を行うRogers Sugarは、カナダ東部向け砂糖供給を強化するため、子会社Lanticのモンリオール事業に1.6億ドルを投資。年間供給量は最大10万トン増、精製能力は15%増となる見込み。
- ・8月19日、高電圧ケーブル製造のProEV（米ECI子会社、Pointe-Claireにも拠点あり）は、商用・産業用電気自動車向け高電圧ケーブル製造施設をサンローラン区に開設。
- ・8月23日、カナダを訪問中の独シュルツ首相は、モンリオールのケベック人工知能(AI)研究所(Mila)を視察。
- ・8月25日、ハイドロケベック(HQ)は、ヴァレンヌ(モンリオール南対岸)のRecyclage Carbone Varennes (RCV)水素プロジェクトから撤退。HQは、Enerkemとそのパートナー企業(Shell、Suncor、Proman他)が別に建設するバイオ燃料工場に水素を供給するために、2億加ドルかけて水素工場を建設する計画だったが、2工場が組み合わせられることになったため計画を取り止める。HQは水素製造にはまだ関心はあるものの、現状他の水素プロジェクトはない。現在、水素よりもバイオエネルギー開発を推進する州政府は、RCVプロジェクト継続のため、ケベック投資公社(IQ)を通じて2.84億加ドルを追加支出。
- ・8月29日、オリンパスは、子会社エビデント（ケベック市拠点含む）を米投資ファンドBain Capitalに売却。売却は2023年第1四半期に完了する予定。
- ・8月31日、HQは、ニューイングランド地域に1200メガワットの電力を供給するプロジェクトで部分的に勝利。米メイン州最高司法裁判所は、同州の送電線建設反対派の住民投票を違憲とし、本件の差し戻しを命じる判決を下す。
- ・8月31日、中国のゲーム大手NetEaseは、仏Quantic Dream（モンリオールスタジオ含む）を買収。

(2) 大西洋諸州

- ・8月23日、トルドー連邦首相と独シュルツ首相は、NL州Stephenville（ニューファンドランド島西岸）で、グリーン水素エネルギーに関する協定を締結（法的拘束力なし）。独は露エネルギー依存脱却を目指しており、両国は2025年までに加から独への輸出開始を目指す。調印式には大西洋4州首相も出席した。

(3) NL 州

- ・8月10日、Argentia 港（ニューファンドランド島東部）は、米北東部の風力発電プ

プロジェクト開発に関する 6500 万加ドル相当の契約を締結したと発表。契約先は明らかでない。ヨーロッパから届く風力タービン部品の荷揚げ、保管を行う。

・8 月 22 日、Miawpukek ファーストネーションは、豪 Fortescue Future Industries (FFI) と、Port aux Basques、St. George's、Stephenville 地域（ニューファンドランド島南西岸）で計画されている、海水と風力を使ったグリーン燃料生産プロジェクトの事業化調査に関する覚書を締結。

・8 月 23 日、加独水素協定が締結された Stephenville 地域では、コンソーシアム World Energy GH2 が、近隣の Port au Port に 164 基の風力タービンからなる風力発電所を建設、風力による電力で製造された水素を Stephenville でアンモニアに変換する工場建設の計画がある。2024 年供給開始を目指す。

・8 月 26 日、海運企業 Oceanex (本社セント・ジョンズ) は、独造船 Flensburger Schiffbau-Gesellschaft と、気候変動に左右されない高効率の ConRo (ハイブリッド・ロールオン・ロールオフ・コンテナ) 船開発に関する覚書を締結したと発表。

(4) PEI 州

・8 月 31 日、Swoop (ウエストジェットが運営する超格安航空) は、シャーロットタウン・トロント路線を冬季も週 3 便運航継続すると発表。

(5) NS 州

・8 月 2 日、州政府は、Signal Gold 社 (旧社名 Anaconda Mining) の Goldboro (州東部) 金開発プロジェクトを条件付きで承認。野生生物管理、苦情受付対応、ファーストネーションとの連絡に関する計画策定等が条件。2023 年建設、2025 年稼働開始予定。

・8 月 17 日、州は、低コストの再生可能エネルギーを求める過去最大規模の調達で、ミクマク・ファーストネーションが過半数を所有する 5 つの風力発電プロジェクトを選定。これら 5 プロジェクトは、州の総エネルギー消費量の約 12% に相当する 372 メガワット、年間 1373 ギガワット時の発電量を見込む。

・8 月 19 日、独シオルツ首相訪加の際、加から独への液化天然ガス (LNG) 輸出は議論されないとみられる中、独エネルギー企業ユニパー (Uniper) 広報担当者によれば、ゴールドボロ (Goldboro、州東岸) LNG プロジェクトは、この 1 年間所有者のピアリダイ・エナジー (Pieridae Energy、本社カルガリー) からの資金提供がなく、両社が締結した 20 年間の供給契約は、まだ有効だがユニパーにとってもはや重要な役割は担っていないとのこと。

・8 月 19 日、ヒューストン州首相は、連邦炭素税が導入されればガソリン価格が 1 リットル当たり 2023 年には 14 セント、その後も上昇し続けることを懸念し、これを避けるため州法にもとづく排出量削減計画を連邦政府に提出。州は 2019 年から導入中の州独自のキャップ・アンド・トレード制度に代わる、連邦目標への対応を迫られている。29 日、ギルボ連邦環境大臣は、州計画には炭素価格がないとしてこれを拒否する旨回答。連邦政府からのレポートにより、多くの人々は支払う以上に受け取れるとの説明。

・8 月 23 日、グリーン水素・アンモニア開発企業 EverWind は、ケーブプレトン島 Point Tupper 施設 (2023 年建設、2025 年生産開始予定) で生産されるグリーンアンモニアを年間 50 万トン供給する覚書を独ユニパーと締結。EverWind はまた、別の独企業 E.ON Hydrogen 社とも、年間ほぼ同量のグリーンアンモニアを供給する覚書を締結。

(6) NB 州

・8月18日、ベルデュン港（州北東部）は、グリーン水素製造施設建設に向け、米クリーンインフラ開発企業 Cross River Infrastructure Partners との合意に達したと発表。200メガワットのクリーン電力で輸出用グリーンアンモニアを製造する計画で、早ければ2027年稼働開始見込み。

・8月23日、ベルデュン港は、独ニーダーザクセン港（北海沿岸）とクリーン燃料やグリーン製品に重点を置いた海上輸送で協力する覚書を締結。

[在モンテリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンテリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter：@JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンテリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■